

指定管理者評価シート

事業名	公立保育所等運営費	所管課(電話番号)	子ども未来局子育て支援部子育て支援課(211-2988)
-----	-----------	-----------	------------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市しせいかん保育園	所在地	札幌市中央区南3条西7丁目1-1
開設時期	2004年4月1日	延床面積	1015.15㎡
目的	児童福祉法(昭和22年法律第164号)39条の規定に基づく保育所として、保護者の労働、疾病その他の事由により、その監護すべき児童について保育を必要とする場合、当該児童を保育すること。		
事業概要	保育事業		
主要施設	保育室、乳児室、遊戯室、事務室、調理室		
2 指定管理者			
名称	社会福祉法人 救世軍社会事業団		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由:施設利用者との継続的な信頼関係が求められるため、非公募としたもの。		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設の維持及び管理。保育の実施及び保育の実施に付随する業務。		
3 評価単位	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和7年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1) 統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 保育を必要とする乳幼児が心身とも健全に成長するために、法人の社会福祉事業の理念に基づき地域とともに歩む共同体を目指すという保育園の理念のもと、「子どもの成長に大切な水・砂・泥あそびなどの活動を行い、人のかかわりが楽しくなる保育をし、家庭との連携による人間形成の基礎づくりに努め、保護者とのコミュニケーションを大事にして必要な支援を行い、複合施設の交流を通して多くの大人に見守られながら成長していける場となるよう努力していく」との方針を策定した。また運営にあたっては札幌市児童福祉法施行条例、札幌市子ども・子育て支援法施行条例及びその他の関係法令を遵守するものとした。 ▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 平等利用の確保のため「多様化する利用者のニーズに応える」という方針を策定し、札幌全域からの希望者を受け入れ、夜間保育(延べ449人)・時間外保育(延べ2,856人)・乳児保育(延べ1,505人)・アレルギー児への保育を行っている。ホームページで一般向けに子育て相談や園庭開放など園行事の情報を発信し入園希望者に対しては随時保育園の見学を受け、園内を案内して保育園の生活に関する情報を提供している。	多様なニーズに可能な限り対応しつつ、基本方針に則り管理運営を行うことができた。今年度は複合施設間の定期連絡会(月1回)の他、防災防犯訓練でも、各施設との連携を図ることができた。 短期・長期の一時保育を受入れるなど平等に利用できるよう対応しているものの、夜間保育(延べ230人増)・時間外保育(延べ59人増)・乳児保育(延べ157人	A B C D 市の指導を受けることなく、適切に管理されている。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 ▼ 職員と節電やリサイクルなど環境問題に関する情報を共有した。職員間の意識向上により、園児や保護者に対しても施設内で周知するようにした。 ▼ 複合施設全体で電気・水道・ガスを節約し、事業ごみは分別による資源ごみリサイクルを行うことで、二酸化炭素排出量の削減に努めている。 ▼ コピー機および印刷機は節電機能つきのものを使用し、消耗品は環境負荷の少ないグリーン商品やリサイクル商品を購入、コピー用紙もリサイクル100%の商品を使用している。 ▼ 給食の廃油はバイオディーゼル燃料や洗剤の原料として、リサイクル業者に活用してもらっている。 ▼ フードロスにならぬよう、防災食品や給食食品の在庫チェックも定期的に行っている。	減)となった。利用数が増加となるよ 職員の節電やリサイクルへの意識が習慣づいてきた。また、子ども達もゴミの分別や水・紙など資源の大切さに少しずつ気が付くようになってきた。
▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成) ▼ 統括責任者として園長、職務代理者として主任1名、副主任2名、専門リーダーを5名置き、組織機構・事務分掌に従い職務を分担した。保育園の緊急連絡網のほかに複合施設緊急連絡網も定め各施設と連携している。 ▼ 保育の質を高めるために計画に基づき、毎月の園内研修(計9回)や園外研修(計14回37名)保育士キャリアアップ研修(3分野9名)がオンラインや対面の研修に参加した。パートも園内研修を行い、情報共有に努めた。	保育や職務に必要な職員数を確保することに努めた。主任・副主任がキャリアアップの軸となり、各分野リーダーが職務を追究するよう努めてきた。研修に関しては、全職員が自ら目的や計画性をもって、研修に参加できる体制作りをすることができた。
▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 ▼ 日々の送迎時や年数回行うクラス懇談・個人懇談を通して、保護者との会話を心掛け家庭との連携を行ってきた。 ▼ 日々の中で共有すべき出来事や保育の流れが変わったときは、各クラスノートの記入や主任やリーダーが中心となって、緊急会議を行い改善するようにした。 ▼ 感染症やけがについては、迅速に職員と保護者へ情報共有するよう努め状況によってすぐに受診を促し対応した。感染症は保健所の指導に沿った。保育環境に危険個所があれば、すぐに改善した。	クラス懇談会や個人懇談で子供達の成長発達を理解しやすくする工夫を行い様々な意見や要望を取り入れながら対応することができた。感染症に関しては、保健所の助言をもとに保護者へ情報発信するなど予防・収束に努めた。
▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認) ▼ 複合施設の管理運営は、施設全体で(株)ベルックスに委託しており、役務履行検査報告書により適正な業務遂行が行われていることを確認した。	

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回	2026.1.7
①施設の老朽化 毎年小学校から水漏れがあり、床が腐食してきているので、何とか修繕をお願いしたい。 ②児相案件 支援の必要な親子が増え、苦勞している ③定員減 近隣に小規模や認定こども園があり、当園への入園児が減少していて増加が望めない ④夜間保育 需要がほとんどない	
<協議会メンバー> 施設運営課長:長内・吉田	

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

- ▼ 資金管理については、税理士事務所による毎月の監査および法人本部による年1回の監査を導入している。
- ▼ 現金等の取扱いについては、経理規定に従って適切に処理をしている。

税理士事務所による月次顧問業務が行われている。経理規程に従い、出納職員と会計責任者を配置し、適正に取り扱いを行っている。

▽ 要望・苦情対応

- ▼ 要望がある保護者に対しては直接話を聞き、改善策を提示しコミュニケーションをとるようにしてきた
- ▼ ご意見箱をホール内に設置し、保護者に貼り紙で要望・苦情対応等、随時受付していることを周知している。
- ▼ 要望・苦情については毎月、件数・内容・解決結果を掲示し、園だよりにも載せている。(件数が0件の場合も掲示)
- ▼ 年度末アンケートで出された要望に対しては、利用者に対して掲示公表を行い、風通しのよい保育運営に努めた。

要望や苦情があった際には、保護者へ迅速に対応し、職員にも情報を共有することで早期解決・改善に努めることができた。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

- ▼ 指定管理業務の実施に関する記録・帳簿等を整備・保管している。
- ▼ 本業務の実施に関する記録・帳簿を整備し保管している。
- ▼ 怪我等については事故記録簿に内容と対応を記録し、職員間で共有し再発防止に努めてきた。
- ▼ 3月にセルフモニタリングを行い、利用者満足度を集計し、結果を保護者に公表した。
- ▼ 自己評価実施後は、会議等で職員間で共有し、改善が必要なものに関しては対応を行った。

年1.2回、常勤・パート共に園長との面談を行い、職員は自己評価表を提出している。それを基に、主任・副主任と連携し、職員育成・保育の質の向上に努めた。

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) ▼ パートタイマーの最低賃金を1,075円に引き上げた。 ▼ 時間外労働及び休日労働に関する協定(36協定)を結び、労働基準監督署へ届け出た。 ▼ 職員の健康維持・増進のため、年1回の健康診断を行っている。 ▼ すべての職員を労災保険に、条件を満たす職員を雇用保険に加入させた。 ▼ 条件を満たす職員を厚生年金保険と健康保険、退職共済に加入させた。 ▼ 災害予防に努め衛生推進者を配置している。 ▼ 正規職員を雇用する際、現在の非正規職員からの希望者を募り、内部登用試験を行った。	労働基準監督署へ必要な届を行い、就業規則・給与規程など、雇用に関する法令を遵守した。給与・賃金の支払いは適切に行い、雇用環境向上のため、健康診断・予防接種・検便を行った。	A B C D 市の指導を受けることなく、適切に管理されている。
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ▼ 公の施設であることを念頭におき、福祉の増進に努めた。 ▼ 利用者の安全を守るため、安全管理マニュアルの活用や緊急時用の一斉配信メールに保護者・職員も登録し、連携体制を確保している。 ▼ 拾得物は、玄関前に掲示したうえで事務室で保管し記名を促している。 ▼ 仕様に適合した損害賠償保険に加入している。 ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▼ 各施設と連携し、共用部分の清掃を行い、園内は用務員が毎日清掃している。 ▼ 年3回程度園内の壁・床・エアコン・送風機・空気清浄機など職員での清掃を行っている。また、給食室の配水管洗浄およびグリーストラップ清掃を行っている。 ▼ 修繕として、1F保育室壁修繕、保育室棚修繕、窓木枠ささくれ研磨、保育室ブラインド取替、玄関ドアノブ取替、沐浴室水漏れ補修、廊下張替工事、食洗器水漏れ修理2回、2Fトイレ水漏れ工事、トイレドア修繕、散歩車ブレーキ修繕、タープ2ヶ所園庭に設置した ▼ 警備・保守点検に関しては、複合施設全体で業者へ委託して実施した。 ▽ 防災	各職員が保育中の危険を素早く察知し、職員同士が情報共有や危険に対する意識作り・研修を行ってきた。また、改善点があれば、主任や各分野リーダーを中心に連携をとって園内の安全に努めることができた。 昨年度の状況をふまえ、日常の定期清掃や点検を心掛けている。業務委託により、環境保全を意識し、行うことができた。小学校から大量の水漏れが2回あり、床の修繕を札幌市に依頼し2月下旬に床シート貼りを行った園内の修繕箇所も増えたが、すぐに対応し不自由なく使用できるよう安全に努めた。	A B C D 市の指導を受けることなく、適切に管理されている。

	▼ 複合施設としての防災計画を策定し、保育園のみの避難訓練は毎月、複合施設の合同訓練(火災・地震・不審者)は年3回計画し夜間中学との防犯訓練も行うことができた。 ▼ 防災点検は、日常自主検査を毎日行うとともに、消防署による年2回の定期点検を施設全体で実施している。 ▼ 保育室や事務室に救急箱と医薬品を常備している。また、AEDも事務室に設置している。 ▼ 園庭にあるどんぐりの木の枝が歩道にまで伸びていたため、安全のため剪定した。	日中の他に夜間で合同避難訓練も実施している。合同訓練も実施することができ、いざという時のために備えたい。保育室や救急箱の医薬品は年に1.2回確認し充足させており、AEDも毎日点検している。																													
(4)事業の計画・実施業務	▽ 保育実施状況 ▼ 保育時間 7:00～18:00 10:00～22:00 ▼ 児童数(令和8年3月1日時点、()内は夜間) <table><tr><td></td><td>定員</td><td>R6実績</td><td>R7実績</td></tr><tr><td>0歳児</td><td>15()人</td><td>10()人</td><td>9()人</td></tr><tr><td>1～2歳児</td><td>39()人</td><td>33(1)人</td><td>24(1)人</td></tr><tr><td>3歳児</td><td>22()人</td><td>15()人</td><td>19(1)人</td></tr><tr><td>4～5歳児</td><td>44()人</td><td>37()人</td><td>30()人</td></tr><tr><td>計</td><td>120(20)人</td><td>95(1)人</td><td>82(2)人</td></tr></table> ▼ 職員数(令和8年3月1日時点) 国が定める最低基準以上の保育士を確保している。 施設長1名 保育士19名 栄養士1名 調理員4名 用務員1名 事務員1名 嘱託員1名 ▼ 行事の実施 主に園外行事が熊出没で中止・場所変更する行事があったが、前年度とは別の場所へ出かけるなどの対応により保護者の理解のもと行事の実施ができた。 ▼ 健康診断の実施 内科健診; 年2回実施 歯科健診; 年1回実施		定員	R6実績	R7実績	0歳児	15()人	10()人	9()人	1～2歳児	39()人	33(1)人	24(1)人	3歳児	22()人	15()人	19(1)人	4～5歳児	44()人	37()人	30()人	計	120(20)人	95(1)人	82(2)人	年度当初から、前年度より園児数が減少。途中入園・退園があり、最終的に前年度より園児数が減少した。 職員は、年度途中でパート調理員1名・年度末で正職保育士1名が退職した。 できる範囲内での行事となったが子ども達も楽しむことができた。健康診断・歯科健診を予定通り実施できた。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> 行事や健診等をおおむね計画通りに実施することができる。	A	B	C	D
	定員	R6実績	R7実績																												
0歳児	15()人	10()人	9()人																												
1～2歳児	39()人	33(1)人	24(1)人																												
3歳児	22()人	15()人	19(1)人																												
4～5歳児	44()人	37()人	30()人																												
計	120(20)人	95(1)人	82(2)人																												
A	B	C	D																												
(5)施設利用に関する業務	▽ 保育に付随する業務の実施状況 <table><tr><td>種別(内容)</td><td>R6実績</td><td>R7実績</td></tr><tr><td>通常:延長保育(18時から19時まで)</td><td>2,386人</td><td>1,952人</td></tr><tr><td>夜間:延長保育(8時から10時まで)</td><td>130人</td><td>482人</td></tr><tr><td>夜間:延長保育(21時以降)</td><td>0人</td><td>0人</td></tr><tr><td>一時保育(8時から18時まで)</td><td>35人</td><td>122人</td></tr></table> ※ 実績は該当年度延べ利用児童数	種別(内容)	R6実績	R7実績	通常:延長保育(18時から19時まで)	2,386人	1,952人	夜間:延長保育(8時から10時まで)	130人	482人	夜間:延長保育(21時以降)	0人	0人	一時保育(8時から18時まで)	35人	122人	延長保育は、減少傾向だが、一時保育は増加傾向で主に0・1歳児の問い合わせが増え定期的に利用する家庭もいた。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> 札幌市の施策である時間外・夜間・一時保育事業の実施に努めている。	A	B	C	D									
種別(内容)	R6実績	R7実績																													
通常:延長保育(18時から19時まで)	2,386人	1,952人																													
夜間:延長保育(8時から10時まで)	130人	482人																													
夜間:延長保育(21時以降)	0人	0人																													
一時保育(8時から18時まで)	35人	122人																													
A	B	C	D																												
(6)付随業務	▽ 広報業務 ▼ 入園のしおり(重要事項説明書)、要覧、一時保育のご案内を作成し、施設の情報提供に努めている。 ▼ 入所希望等の個人見学者を可能な限り受け入れた。 ▼ 保育園の玄関やインフォメーションボードに活動を掲示している。 ▼ ホームページでも日常の活動を掲示している ▼ 園庭開放し親子遊びの様子や園児との交流もホームページに掲示した ▽ 引継ぎ業務 (前回から継続指定のため、引継業務なし)	保育園玄関前のインフォメーションボードに子育て情報・保育園での活動を掲示、複合施設来館者にも保育園の活動を伝えている。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> 園の情報発信に努めている。	A	B	C	D																								
A	B	C	D																												

2 自主事業その他

▽ 自主事業

▼ 該当なし

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

▼給食の食材、消耗品、保育材料等の物品は、可能な限り近隣や市内の業者から購入している。

▼清掃、修繕、廃油回収は、市内の業者を利用している。

▼保育材料・椅子カバー等はできるだけ地域の福祉施設に依頼している

市内企業、福祉施設への依頼を、できる限り心がけている。

A

B

C

D

市の指導を受けることなく、適切に管理されている。

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法

3月

入所児童保護者を対象に、用紙配布により実施。

回収率 93.8%

結果概要

(1)施設の利用には、満足していますか？
① とても良い 73.3% ② 良い 26.7% ③ 普通 0.0% ④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

(2)施設や設備は、良好に管理されていると思いますか？
① とても良い63.0% ② 良い 31.0% ③ 普通 6.0% ④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

(3)保育園の行事について、どう思いますか？
① とても良い 56.6% ② 良い 36.6% ③ 普通 6.8% ④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

(4)保育園の食事(おやつ)について、どう思いますか？
① とても良い 63.3% ② 良い 33.3% ③ 普通 3.4% ④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

(5)職員(保育士)などの対応は良好ですか？
① とても良い71.6% ② 良い 27.4% ③ 普通 1.0% ④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

(6)保育サービス全体の評価はいかがですか？
① とても良い 66.6% ② 良い 31.6% ③ 普通 1.8% ④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない0.0%

利用者からの意見・要望とその対応

今年度はありませんでした。

アンケート結果は、職員には会議で報告・掲示し、保護者へも掲示してお知らせしている。要望があった事に対しては、できる限り改善する方向ですすめている。

満足度は高い評価を得られている。利用者からの意見・要望についても、適切に対応しており、利用者とも良い信頼関係を築いていると思われる。

おたよりや日々の活動紹介に写真を載せたり、懇談会ではパワーポイントを使い動画や写真で園の様子と子どもたちの成長発達について知らせている。保護者同士も横のつながりができるよう、機会をもうけている。園だよりに掲載した行事について

行事については、なるべくホームページに載せて2～3か月に1度は更新するようにしている。アプリでの登降園管理も浸透し、出欠確認が以前よりもスムーズになってきている。

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R7年度計画	R7年度決算	差(決算-計画)
収入	146,754	149,187	2,433
指定管理業務収入	145,351	147,222	1,871
委託費収入	123,140	123,269	129
利用料金収入	209	213	4
補助金収入	20,507	22,197	1,690
その他収入	1,495	1,543	48
自主事業収入	1,403	1,965	562
支出	146,345	149,771	3,426
指定管理業務支出	144,015	147,446	3,431
人件費支出	119,996	123,520	3,524
事業費支出	15,527	15,525	▲ 2
事務費支出	7,281	7,247	▲ 34
その他支出	1,211	1,154	▲ 57
自主事業支出	2,330	2,325	▲ 5
収入-支出	409	▲ 584	▲ 993

▽ 説明

- ▼ 指定管理業務収入のうち、委託費収入は予算対比129千円増、補助金事業収入は予算より1,690千円増。
- ▼ 利用料金収入は、当初の見込みより4千円増。
- ▼ 指定管理業務支出のうち、人件費が予算対比3,524千円増、事業費2千円減、事務費支出は34千円減となった。
- ▼ 決算収支は支出増584千円の赤字となった。
- ▼ 補助金収入のうち、給食費・光熱費高等対策補助金の見込み不足により1,690千円増加した。支出については、人件費・事業費は予算をかなりオーバーし、事業費・その他がかろうじて予算内だったが、結果的には584千円の赤字となった。

赤字になり、来年度に向けての収支も心配なところですが、今後も安定した経営となるよう、収支計画をたてたい。

A B C D
人件費増により赤字決算となったが、全体としておおむね良好な運営ができています。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

法人全体としては、概ね安定した資産状況にあり、安定した経営をしている

適 不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

適 不適

▼ 各条例の規定に則り、すべて適切に対応した。 ▼ 個人情報の取り扱い方針を定め、すべての職員から個人情報取り扱いに関する誓約書をもらっている。また、保育要録等の開示請求にあたっては、所定の手続きにより開示している。(令和7年度の請求は0件) ▼ 協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。		
--	--	--

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
定員を満たすことが難しい中、ホームページで幼児を中心とした活動を発信、その問合せから入園につながることもあったため、定員減を緩和することができた。 行事については、小学校や地域・近隣の保育園と交流することができ、活動の幅が広がった。 子ども達の安全のため、園内外の救急法の研修に参加。その後、必ず職員に共有し自園でも毎月行えるよう体制を整えているところである。	・保育士の質の向上を目指し、各自研修に参加し、日々の保育に生かしていく。 ・保育環境を整え、子どもたちが安全で安心して日々すごせるよう心がけていく。 ・経年劣化の箇所が危険にならないよう点検と修繕を早めに行っていく。 ・少しでも園児を増やせるよう、乳児を獲得していく。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
法令を遵守し、保育の質を保っていること、札幌市の施策に対して積極的に取り組み、様々な保育ニーズに対応していることが利用者の満足度にも表れているように見受けられる。また、施設の老朽化への対応等については、引き続き改善に向けた協議を進めていきたい。	